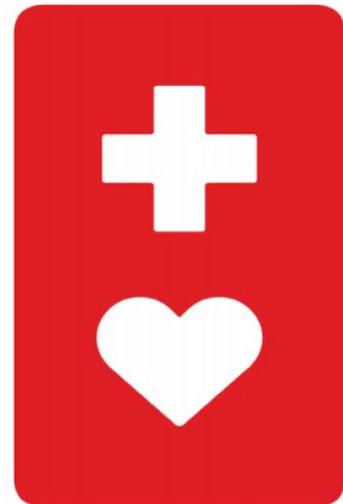


オイスカ浜松国際高校で「ヘルプマーク」講座

ヘルプマーク

おもて面



うら面

ここに連絡事項を記入してください（主な症状、対処法、緊急連絡先等）

ヘルプマーク理解を
浜松いわた信金 高校生らに講座

浜松いわた信用金庫は二十六日、外見では分からない障害や持病に配慮を求め「ヘルプマーク」に関する講座を、浜松市西区のオイスカ浜松国際高校で開いた。学生や社会人の約八十人が、マークの意味や当事者とのコミュニケーションについて理解を深めた。

同信金は営業店での接客の心構えを学ぶため、新入職員向けにヘルプマーク研修を既に実施。県のヘルプマーク推進事業を受託するNPO法人オールしずおかベストコミュニティ（静岡市葵区）が周知拡大の機会を求めており、出前講座の場を初めて設けた。

職員らはヘルプマークを掲げている人が遠慮しないように、「何かお手伝いすることはありますか」と、さりげなく声を掛けるコツを紹介した。講座には同高の一年生や、LPガス販売のエネジン（中区）の社員らが参加した。

（久下悠一郎）

ヘルプマークの周知に向けて学生や社会人向けに開かれた講座＝浜松市西区のオイスカ浜松国際高で（浜松いわた信用金庫提供）

浜松いわた信用金庫様が、オイスカ浜松国際高校の1年生向けに、「ヘルプマーク」に関する講座を開催した様子が掲載されました。

助け下手、助けられ下手といわれる日本人ですが、「ヘルプマーク」を理解することで、助けられる側はもちろん、助ける側も遠慮せずに声をかけることに繋がります。

「ヘルプマーク」の周知拡大の機会として、オイスカ高校での出前授業が開かれましたが、浜松いわた信用金庫、オイスカ高校とともに様々なSDGs活動を行っているエネジンにもお声掛けをいただき、一緒に参加させていただきました。

今後も正しい知識の理解を深め、地域の皆様のお役に立てる活動をしていきます。

